

# ハイカーボン Hi-CARBON

## 硬質カーボン洗浄剤

Hi-CARBONは内燃機関のピストン・シリンダカバー・排気弁等の金属表面に付着した硬質カーボンの除去を目的として開発された特殊洗浄剤です。特に最近のコージェネシシステムのアルミ製ピストン等に付着した硬質カーボン汚れを、母材を傷めずに除去することができます。

### 性 状

- 外 観 : 無色～微濁液体
- 引 火 点 : なし
- 反 応 : 1.10g/cm<sup>3</sup>(15℃)
- 反 応 : アルカリ性
- 主 成 分 : 無機アルカリ塩、キレート剤、界面活性剤

材質影響一覧表					
ステンレス	鋼鉄	鋳鉄	アルミ	亜鉛	銅&黄銅
○	○	○	○	×	△
○ = 影響なし		△ = 影響小		× = 影響大	

### 特 性

- 強力な浸透力で硬質カーボンに速やかに浸透し、金属面から剥離、除去します。
- アルミニウム、鉄、に対する腐食性はありません。
- 刺激性・悪臭がなく、かつ低泡性ですから作業性が良好です。

### 使用 方 法

- 水で希釈すると洗浄力が低下しますので、原液のまま使用してください。
- 洗浄物全体がHi-CARBONに完全に漬かるよう沈めてください。
- 適当な方法で、Hi-CARBONを約50℃に加温してください。
- 洗浄時間は1～2時間を目安に、汚れがひどい場合は更に延長してください。
- 洗浄後は水で十分濯ぎ洗いをしてください。
- 反復使用ができますが、洗浄力が低下して使用限度になると、液が増粘しますから、新しい液と取り替えてください。
- 液面などHi-CARBON中の水分が蒸発し易い場所では、成分が洗浄物に析出・付着して取れにくくなる場合があります。

### 使用上の注意

- グラファイトコーティング・塗料は剥がれる場合があります。
- 亜鉛は侵される場合があります。
- 長時間の加温により水分が多量に蒸発した場合、内容物が析出することがありますので、適宜清水を補給してください。
- 廃液は、産業廃棄物として処理して下さい。

進取の気象をモットーに

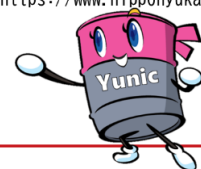
 **日本油化工業株式会社**

横浜本社： TEL： 045(201)8867 / FAX： 045(201)8358  
神戸営業所： TEL： 078(321)4105 / FAX： 078(321)4107

(裏面もお読みください。)



←お問合せはこちらまで。  
(<https://www.nipponyuka.jp/>)



2023.08

## 取扱上の注意

- アルカリ性ですから、防護眼鏡・ゴム手袋等の保護具を着用してください。
  - 応急処置
    - ・眼に入った場合：多量の清水で15分以上洗い流してください。
    - ・皮膚付着の場合：水で洗い流してください。
- ※状況に応じ、医師の診察を受けてください。

## 保管上の注意

- 冷暗所に保管

## 荷 姿

- 18 L 石油缶

重量(kg) 寸法(WxDxH,cm)  
20.2 23.8x23.8x35



## 関連法規

- 該当なし

### Hi-CARBONによる硬質カーボン洗浄法について

Hi-CARBONを使って内燃機関のピストン・シリンダカバー・排気弁などに付着した硬質カーボンを除去する方法は次の通りです。

1. Hi-CARBONを適当な容器に入れてください。
  - ① 洗浄物全体がHi-CARBONに完全に浸漬できる液量としてください。
  - ② ピストンスカート部にグラファイトなどのコーティングがしてある部分は、浸漬しないでください。
  - ③ シリンダカバーの外側の塗料などが、はがれることがありますからご注意ください。
2. 洗浄物全体をHi-CARBONに完全に浸漬してください。
3. 投げ込みヒータを入れ、50°Cに液温を上昇してください。  
投げ込みヒータの加熱部が、液に浸漬するようにしてください。
4. 1～2時間を目安に浸漬し、その後、亀の子タワシなどで水洗を十分に行ってください。  
硬質カーボン付着量が多い場合は、浸漬時間を延長してください。

